

# 電線材料カンパニー

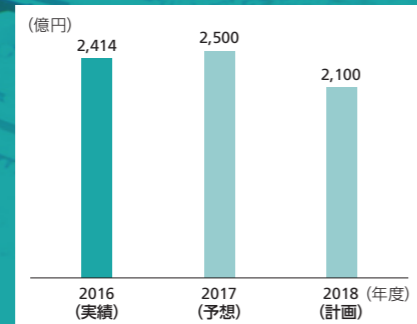
## 中期経営計画の基本方針

### 基盤製品の強化と成長分野の拡大による高収益体質への変革

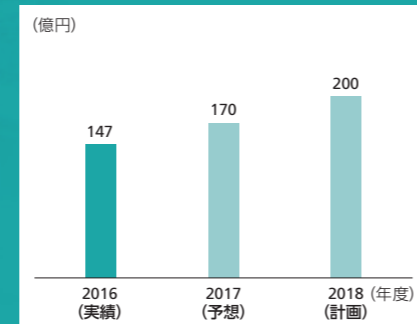
- 技術革新による基盤製品の競争力強化
- 成長3分野へ経営資源を集中投入
- xEV・FA分野における他カンパニーとのシナジー追求

## 定量目標に対する進捗

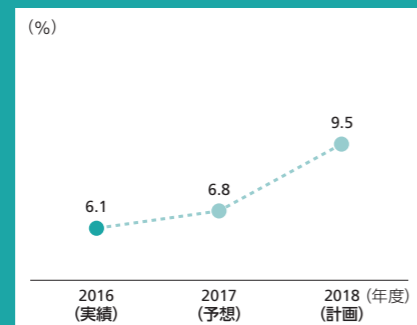
### 売上収益



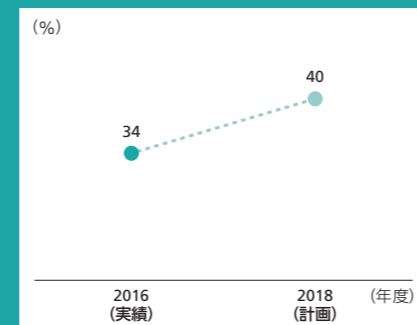
### 調整後営業利益



### 調整後営業利益率



### 海外売上比率



## 投資計画

投資額 **220** 億円 (2016年度～2018年度累計)

### 成長投資

- M&Aも視野に入れた鉄道・医療分野の強化
- 革新的電線製造ラインの増強 (2017年度下期稼働予定)
- 自動車電装部品のグローバル供給体制強化

### 基盤強化

- 新型連続鋳造圧延ラインの導入 (2018年4月稼働予定)
- マグネットワイヤ革新的生産ラインの導入 (2018年度上期稼働予定)



電線材料カンパニー代表取締役  
村上 和也

## 中期経営計画に対する事業の進捗

### 成長分野(鉄道・医療・自動車電装部品)

#### 主な進捗

ポートフォリオ刷新による利益体質強化を推進する中、鉄道・医療・自動車電装部品の成長3分野へ経営資源を集中投入しています。鉄道では、中国の設備増強やチェコでのハーネス量産開始など、グローバル供給体制とソリューション営業体制の強化を推進しました。医療では、2016年2月に買収したHTP-Meds, LLCの新工場を稼働させ量産を開始しました。自動車電装部品では、日本とメキシコでセンサーやハーネスの新ラインを導入しました。

#### 今後の注力事項

世界各国で建設計画があり、この先20年は、年平均3%の成長が予測される鉄道分野において、世界市場に対する製造拠点の強化とモノソリューションによる提案力の強化を背景とした拡販を推進していきます。また2021年までは、年平均5%の成長が予測される医療分野では、異形状チューブや耐圧編組チューブなどのHTP-Meds, LLCの強みを生かしたチューブ事業の拡大とプローブケーブルのコスト競争力強化を進めます。

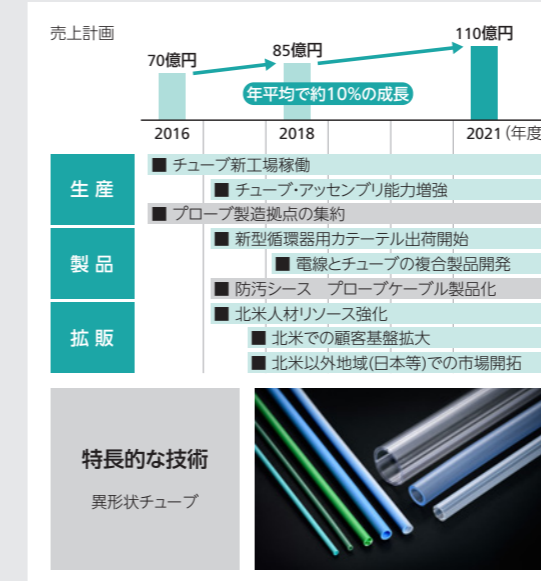
さらに自動車電装部品では、差別化が大きく図れるABS一体型EPB(電動パーキングブレーキ)ハーネスに注力するとともに、新型センサー開発の加速、メキシコやタイ、中国拠点の強化による電装部品グローバル供給体制強化を積極的に推進します。

### 基盤製品

#### 主な進捗と今後の注力事項

建設・電販用電線やマグネットワイヤ、ブレーキホースなどの基盤製品においては、製造プロセス革新による競争力強化をめざし、最新IoTによる制御技術を駆使した新型連続鋳造圧延ラインとマグネットワイヤの革新的生産ラインを導入する計画です。新型連続鋳造圧延ラインは2018年4月稼働予定で、当社独自の高性能純銅HiFC®の本格量産が可能になります。また、エネルギー効率・生産性の大幅な改善も達成できます。マグネットワイヤは、モーターの高電圧化、小型軽量化、長寿命化に貢献できる特長を生かしxEV市場向けに事業を拡大します。同じくxEV市場をターゲットとする磁性材料カンパニーとのシナジー創出をめざします。

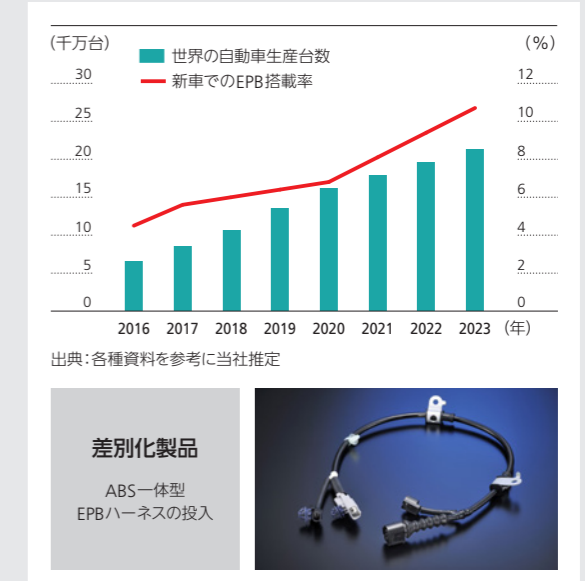
### 医療分野の事業拡大



### 2016年度と2018年度の売上比較

成長(鉄道・医療・電装部品)分野 売上目標 **445億円(2016年度)** ▶ **535億円(2018年度)**

### EPBハーネス事業の拡大



出典:各種資料を参考に当社推定

#### 差別化製品

ABS一体型  
EPBハーネスの投入

